

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

お客様に最適な物流サービスを提供する総合物流企業を目指し、社会に貢献するとともに、企業価値を高める

連結営業収益
440億円

連結経常利益
11億円

② 中長期の経営戦略

1. 事業戦略

既存領域の深化（倉庫、フォワーディング、輸出入通関、海外）、収益基盤の維持（海運、コンテナターミナル、不動産）、利益の安定化

3. ガバナンス強化

コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの強化

2. 組織・人財戦略

組織力の強化、人的資本経営の推進、資本コストや株価を意識した経営の実現

4. デジタル推進

ICT戦略の推進、営業部門の増強

③ 対処すべき課題

① マテリアリティへの対応

- ・ 人的資本経営とDXの融合
- ・ 脱炭素社会実現への貢献
- ・ サーキュラーエコノミー構築

② 持続的成長への課題

- ・ 市場と顧客に選ばれる企業への転換
- ・ SDGs達成を含む社会課題解決への貢献
- ・ ステークホルダー期待への応答

③ 経営基盤の強化

- ・ 新しい物流動向への柔軟対応
- ・ 不採算事業の最適化

面接で使えるポイント

- ・ 東海運は2027年3月期に営業収益440億円を目指す総合物流企業で、倉庫やフォワーディング事業の深化に注力
- ・ 人的資本経営とDXの融合、脱炭素社会への貢献など5つのマテリアリティに事業を通じて取り組む姿勢
- ・ 「運ぶ力」「繋ぐ力」「貫く力」と「挑む力」で社会インフラ支える企業を目指す

証券コード 9380

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

暗記する数字3つ

連結売上高
401億円営業利益率
2.2%財務健康度
22点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 47.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
666万円

倉庫・運輸関連業内 12位/31社

平均年齢
47.2歳

倉庫・運輸関連業内 4位/31社

平均勤続
13.7年

倉庫・運輸関連業内 22位/31社

女性管理職
－（未開示）男性育休
28.6%

倉庫・運輸関連業内 22位/24社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 東海運、2027年3月期も増収増益予想 新造船の通年寄与等で

要するに
東海運株式会社 ビジネス内容概要

…

主力事業・セグメント

- ・物流 74.7%
- ・海運 22.7%
- ・不動産 1.9%

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります